

令和8年5月1日時点

入学試験における出題意図について（2026年度純真学園大学大学院 保健医療学研究科 保健衛生学専攻 臨床検査学分野）

■小論文

本学大学院のアドミッション・ポリシーでは、建学の精神である「気品」「知性」「奉仕」に則り、生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育み、保健・医療・福祉の分野において社会の要請に応え得る高度専門職業人の養成を目指している。とりわけ保健衛生学専攻 臨床検査学分野では、「現代医療が抱える保健・医療・福祉分野の問題解決に意欲のある人」「多職種連携の実践を通して、全人的医療に貢献したい人」「臨床検査に関する高い専門性を身につけ、指導者・管理者を目指す人」を受け入れ方針として掲げている。小論文は、これらの資質を、論理的な思考力・表現力とあわせて総合的に評価することを意図して出題した。

設問は、(1)「生活習慣病予防における臨床検査の役割」、(2)「検査室における品質保証」、(3)「チーム医療におけるコミュニケーションと倫理」の三題から一題を選択し、八〇〇字程度で論述させる形式とした。いずれも、臨床検査技師が高度専門職業人として直面する予防医療、検査の質保証、多職種連携と倫理という中核的な主題であり、受験者が自らの関心や専門に即して主題を選び、専門的知識と実践的な視点を統合して論じられるかを問うものである。予防・健康増進や生活の質の向上に資する視点、地域の保健医療福祉の諸課題に対応しようとする姿勢を評価するという、本分野の育成目標に沿った出題である。

評価にあたっては、選択した主題に対して論点が的確に一致しているか、論旨が明確で論理的・客観的に述べられているか、序論・本論・結論の構成が整っているかを重視した。あわせて、専門用語の正確な使用を含む日本語表現の適切さや、規定の字数についても評価の対象とした。

なお、試験時間は一二〇分とし、主題の選択、構想及び記述に十分取り組める時間を確保した。